

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年12月9日				
ステップ・バイ・ステップ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60.0%	40.0%	・もう少し広ければ活動の幅も広がると思う ・年齢の幅が広いので、それぞれの動きによってはぶつかる等の危険がある。 ・ 広くないスペースでもAチームBチームの2箇所に分かれて、それぞれの場所を広く使っている。 ・ 2つのグループに分かれて、空間を仕切ってそれぞれに活動を行うことで、混雑する様子は無いが、狭いと感じる日もある。	・ 間仕切りを使い、活動内容によって部屋の広さを調整しています。年齢や体格、人数によっては体育館や屋外などの広い場所で活動を行っていきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	66.7%	33.3%	・ 曜日によって足りない日もあるが概ね足りている。 ・ 今はギリギリ適切かと思われるが、おむつの子が増えることや1対1での関わりが必要な子が多いと適切でなくなる。肢体不自由児のお子さんが成長すると女性スタッフでは安全面で対応が不可能になる。手が要る子に目が行き、それほど手が必要でない子への関わりが不十分になるように思う。	・ お子さまの人数に応じた職員配置で対応していますが、今後、1対1での支援が必要な場合や、同性介助などの必要性も出てくることから、スタッフの増員（特に男性スタッフ）を検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	66.7%	33.3%	・ 一人になりたい時に個室スペースがトイレしかないで他にもスペースがあればよいと思う。 ・ 子どもが視覚でわかりやすいように工夫していると思う。	・ 建物の構造はバリアフリーになっています。生活空間は構造化してある部分と、敢えて構造化していない部分はあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	66.7%	33.3%	・ 子供のからだの大きさや動きにあわせ、運動時にはもう少しスペースがあるとよいと思う。 ・ 毎日の清掃,消毒が行き届いている。 ・ カーペットが汚いと感じる	・ 毎日、清掃しており清潔に保たれています。 ・ 定期的にマットや日用品などを入れ替えようと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	44.4%	55.6%	・ 一人で過ごせる場所があってもよいと思います。 ・ 活動場所から少し離れた位置で落ち着くことができる場所が用意されている。 ・ ダンボールの中で落ち着いている姿をよく見ます。 ・ 段ボールスペースがあることで本人も少し落ち着いて、スタッフも様子を見ることはできています。 ・ 畳コーナーや、入れる大きな段ボール箱を、こどもが自由に使用出来る。	・ クールダウンで1人になる場合や、1対1で活動を行う場合には、間仕切りで1人用の空間を作ったり、事務所や段ボールハウスを使用するなど工夫しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	・ アンケートは項目が多いので、途中保存できるようにしていただけるとありがたいです。 ・ 毎日の話し合いでひとりひとりへの関わりが共通理解できる。	・ 職員からの提案や、保護者様からのご意見や情報の公表のアンケートからご意見はサービス向上委員会で取り入れています。そこで皆様からの結果を集計し、各施設のサービス向上委員より各店に公表されます。それを基に職員からの意見を取り入れ改善につなげています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	62.5%	37.5%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88.9%	11.1%	・ それぞれの意見をまとめたものを回覧はされているが、話し合うことはないように思う。 ・ 管理者が時々話しかけて聞いてくださる。	・ 定期的に職員間で話し合う機会や、上席による個別面談を行います。気付いた課題については管理者を中心に業務改善に取り組めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	42.9%	57.1%	・ 分からないので、いいえにしました。	・ 今後は自己評価ならびに外部評価の導入検討を行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	・ 研修に参加したり委員会で話し合ったりして、意識の向上にもつながっている。	・ 研修については全職員に受講して欲しいこともあり、職員が研修に参加しやすいように業務に支障がない日程で開催を調整しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	・ ハグなどで保護者様にお伝えしています。 ・ 児発管の方が頑張ってください。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・ 今後はアセスメントツールを使う、など客観的な観点からアセスメントの方法については検討の余地があると思います	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・ 支援会議を開催して情報共有しています。 ・ 話し合いの時間を設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・ 支援会議の開催や、支援に関する書類の回覧が行われています	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	62.5%	37.5%	・フォーマルなアセスメントツールは使われていません	・アセスメントについては、ツールも含めて検討していきたいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	44.4%	55.6%	・もう少しチームで検討してもよいかと思います。	・リーダーがチームで話を出る機会を多く作れるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・固定化することでのメリット・デメリットはある。現在は、子供の進捗にあわせて変更するようにしていると思います。 ・同じ活動を繰り返すことがあるが、それが有効な時もあると思う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・前の週に打ち合わせをして、準備を分担できると良いと思います。 ・長期休みは厳しい	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	・長期休みは厳しい	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87.5%	12.5%	・保護者にはハグで記録として送っているが、スタッフは記録としては残していない。支援後の振り返りで重要事項の共有はしている。 ・リーダー任せになってしまう時があったので、自分で振り返る時間も大切にしたいと思います。 ・リーダーが全て記録を行うのを3店舗で合わせる必要があるのか。みんなで打ち、それを共有すればいいと思う。負担軽減	・支援に記録は、ソフトに入力し記録しています。翌日のミーティングで支援の検証を行い、課題があればみんなで話し合い、改善しています。今後、過度な業務の偏りが見受けられる際には、業務分担も検討します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	88.9%	11.1%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	77.8%	22.2%	・子どもの意見をどこまで取り入れるべきか迷うときがある	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	57.1%	42.9%	・自分たちから招集をかけることはない。 ・分からない。	・過去のケース会議では、主治医・学校・相談支援事業所・他放課後等デイ・行政期間が集まる会議はありました。今後必要があれば他業種と連携していきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75.0%	25.0%	・学校で下校時間の変更があった場合、共有はされていないことが多い	・学校の下校時間の変更の場合、学校から聞く場合もありますが、ほとんどは保護者様から聞く場合が多いです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	37.5%	62.5%	・特に必要性を感じていなかったため ・もう少し情報共有があってもいいと思う。 ・分からない。	・今後は、就学前に関係機関と連携し情報共有を行っていききたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50.0%	50.0%	・いいえと回答しましたが、実情を知らないだけです。 ・分からない。	・これまでは情報提供を行っていませんでしたので、今後は行いたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50.0%	50.0%	・分からない。	・地域の基幹相談センターが主催する研修に職員は参加しています。今後、必要があればスーパーバイザーにアドバイスを求めたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	55.6%	44.4%		・地域の児童館に遊びに出かけることはありますが、交流することはありません。今後、イベントなどで機会があれば交流していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	71.4%	28.6%		・「虐待防止研修」や「ペアレントトレーニング研修」など、自立支援協議会が主催する研修には多くの職員は参加しています。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	44.4%	55.6%		・自分たちが学んできた知識やスキルを家族支援につなげていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	87.5%	12.5%		・契約前やご契約時に「ご利用のしおり」や「重要事項説明書」「料金表」等でご説明させて頂いております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	88.9%	11.1%		・子さまと保護者様へ、それぞれアンケートを行っています。また、保護者面談も行い、お子さまや保護者様の意思を尊重しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	88.9%	11.1%		・ご相談があった場合、お答えできる範囲でご相談に応じさせて頂いております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100.0%	・わからないので、いいえにしました。	・きょうだい同士や保護者様の交流会に関しましては、まずは年に何回かセミナーやイベントなどを開催し、交流につなげていければと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75.0%	25.0%		・支援用ソフトを使い、活動の様子を毎回報告しています。また保護者用ラインを設け、緊急時の際には保護者様へ一斉送信しています。（避難訓練の避難状況・引き渡し訓練のお知らせなど）
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	88.9%	11.1%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	・ハグや送迎時にお伝えしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	77.8%	22.2%	・夏祭りやハロウィンでの交流をはかっています・地域の公民館と関わりを持っている点。	・夏祭りやハロウィンで、地域の方との交流を図っております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	88.9%	11.1%		・各マニュアルをホームページに掲載しご家族に周知しています。研修実施の際、各委員会の職員間でマニュアルの読み合わせを行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	71.4%	28.6%	・予防接種については把握していません ・すべてのこどもについて、把握出来ているのか分からない。	・今後は予防接種の確認も行いたいと思います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	85.7%	14.3%	・医師の指示書は必要だと思う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	85.7%	14.3%		・安全計画は作成してありますが、今後も必要に応じて、内容の見直しを行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	85.7%	14.3%		・安全計画は作成してありますが、今後も必要に応じて、取り組みの周知を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	77.8%	22.2%		・ヒヤリハットについては、ミーティングや報告書の回覧等で情報の共有を図り、事故防止や再発防止につなげていきたいです。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%		